

SCHOOL LIFE 新学期特集

米国の新学期は9月からだが、在米の日本人向け教育機関はほとんどが日本式の4月から新学期を迎える。ニューヨーク地区は、世界でも有数の日本人教育機関が集中する場所だ。全日制日本人学校、補習授業校、学習塾と学ぶ場所はさまざまだが、米国の大学を目指す者や帰国受験をする者など目的に応じて教育の選択肢は充実している。

昨年からの新型コロナウイルスの感染拡大でオンライン授業と対面授業を組み合わせるなど、学校も家庭も、また学ぶ本人たちも模索しながらの前の例のない教育に取り組んでいる。

夏にはサマーキャンプも解禁になり、徐々にノーマルに向けて動き出している。ニューヨーク地域の日本人向け主要教育機関を紹介する。

(記載は2021年3月6日現在)

プリンストン日本語学校

プリンストン日本語学校
Princeton Community Japanese Language School
事務局: 14 Moore St., Princeton, NJ 08542
Tel: 609-683-5080
office@pcjls.org



校舎および日曜事務局:
ライダー大学内
ビエレンバウム・フィッシャーホール
Rider University, Bierbaum Fisher Hall
2083 Lawrenceville Rd., Lawrenceville, NJ 08648
Tel: 609-895-5628
www.pcjls.org

多様化する日本語学習者への対応ー先駆的存在

文部科学省認可の日本語補習授業校でありNJ州承認非営利団体でもあるプリンストン日本語学校(生徒数305人、三井知之校長)は、ニュージャージー州中心部の緑豊かな自然に恵まれた環境にある。同校には、長年にわたる海外女子教育およびバイリンガル教育の実績に基づいて考案された独自のカリキュラムのコースがあり、継承語教育の先駆的な存在として知られている。

同校の提供するコースには、

- ・文部科学省の学習指導要領にそった教科書や日本語力の維持向上をめざす児童・生徒のための補習校部コース(4月開講)
- ・継承語としての日本語と日本文化を習得したい長期滞在・永住家庭の児童・生徒のためのプリンストンコース(4月開講)
- ・日本語を外国語として学びたい児童・生徒や成人のためのJASLコース(9月開講)、アダルトコース(10月開講)などがある。

多様で充実したプログラムには、NJ州全域はもとより近隣他州からも幼児児童・生徒、成人が集まっている。また、3歳から5歳までの子供を日本語で保育する幼稚園、さらに、高等部も併設されている。

2020年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、一部オンラインの「学習サポート」により、授業日1日の学びを保証する形で授業を行ってきた。コロナ禍が収束し次第、通常の対面による授業の再開を目指している。

経験豊富で熱心な教職員は、毎月定期研修を行い、近隣の補習授業校や日本人学校への視察研修および情報交換にも積極的に取り組んでいる。外部の専門家による教育講演会や書道師範による書初め、節分、七夕祭、運動会、学芸会・学習発表会、コミュニケーションイベントなど「日本語学校」ならではの行事を通して、日本文化・伝統に触れる機会を設けたり、中高生による表現学習発表会やJASLプロジェクト発表会・スピーチコンテストを実施して表現力の育成を図ったりして、個々の目的や目標に沿った最適な学習環境を提供している。



海外子女教育振興財団

公益財団法人海外子女教育振興財団は、文部科学省の補助事業として海外で学ぶ日本の小・中学生向けに通信教育を提供している。

「小・中学生コース」は、現地校等で学ぶ子ども達の学習負担に配慮し、海外で使用する日本の教科書に沿って無理なく「これなら続けられる」という内容で着実な学力育成をねらいとしている。



「国語・算数」数学コースは、日々の学習には、国語はブック教材と学習の進め方ガイドブック、さらにダウンロードできる朗読音声データ等の補助教材、算数/数学は、インターネット教材※を採用。毎月の学習確認には、両教科とも添削問題、国語には作文など

「理科・社会コース」は、インターネット上で学習するコースで、受講生専用サイトへログインすると、単元ごとの授業動画とプリントアウトして記述できる学習ノートで、いつでも学習を進めることができる。また、学習確認としてチャレンジできるさまざまな問題が用意されている。さらに、学習での疑問点を気軽に質問できる機能もついている。

そのほか、0歳から6歳児を対象に、出版社や著者等の偏りがない厳選された絵本を定期的に送付(0歳は一括送付)する「幼児コース」も用意。家庭で母語の土台をしっかりと築くことが大切な時期に、日本語に楽しく触れることができ

教材の詳しい内容や添削指導例をウェブサイト上で閲覧できるほか、算数/数学、理科、社会のインターネット教材は、無料体験版の受講が可能。

公益財団法人
海外子女教育振興財団
通信教育チーム
Tel: 81-3-4330-1345
www.joes.or.jp/kojin/tsushin
kyoiku@joes.or.jp

*帰国後の学校選びなど教育全般にわたる相談サービスや、帰国子女のための外国語保持教室も運営している。詳しくは財団HPで。

リセ・ケネディ日本人学校

リセ・ケネディ日本人学校は、人格の基礎を形成する大切な時期に複数の文化のなかで過ごす子供たちがマルチカルチュラルな人間に成長し、21世紀の国際社会に貢献できる人材の育成を目指している。同校の前身は1964年設立のフランス人学校であり、その後、所在地や就学年限、内容の変遷を経て、グランド・セントラル駅近くの現在地に開設されたのは1997年である。同校には全日課程と土曜課程のプログラムがあり全日課程には幼児クラス(2〜5歳児の異年齢保育)を2クラス、土曜



リセ・ケネディ日本人学校
Lyceum Kennedy Japanese School
225 E. 43rd St. New York, NY 10017
Tel: 212-681-7929
www.lyceumkennedy.org
manhattan@lyceumkennedy.org

全日課程幼児部はニューヨーク市保健局の監督のもと、文部科学省が定める幼稚園教育指導要領を基にESLを加えたカリキュラムが組み立てられている。子供の生活の中心である「遊び」を通して好奇心や探求心を育て、生涯にわたる人格形成の基礎を培うことをねらいとしている。

土曜課程幼児部は日本語の習得と日本文化の継承を中心に保育が行われている。各年齢の発達段階を考慮した「聞く、話す、読む、書く」活動を保育のなかに組み入れ、小学生以降の学習への準備をしている。

2021年度サマースクールは7月12日(月)から8月6日(金)まで4週間、にわたってリセ・ケネディ日本人学校・マンハッタン校で実施。1週間ごとの参加が可能である。



ニューヨーク育英学園

バイリンガル教育の学校
日本式で幼小一貫42周年目



幼児部では、日本の文部科学省が定める幼稚園教育要領、保育5領域に加え、英語を取り入れた保育課程を編成し、3歳児から5歳児までの年齢別保育を行っている。

小学部は文部科学省の定める学習指導要領に基づく教科指導のほかに英語(週10時間)を加えた教育課程を編成し、密度の高い教育を実践している。また、書き初めや餅つき、運動会、な祭り、子供の日、節分会や遠足などの日本の行事の開催も盛んだ。

ほかにハロウィンなどの米国の行事も多く取り入れている。また、地域のコミュニティとの文化交流や野球部、サッカー部、ダブルタッチ部など放課後活動にも力を入れている。

夏には毎年サマースクールを実施。デイキャンプや野球教室、日本語教室、宿泊キャンプなどは内部生、外部生から好評を博している。冬には週末にスキー教室があり、初心者から上級者までの日帰りや宿泊キャンプも盛んだ。

93年秋からサタデースクール(幼児部、小学部、中学部、高等部)をニューヨーク、マンハッタン、ポートワシントンに開設。2000年にはアフタースクール、07年には長時間保育部門「きりんのへや」や言語学習のための「りんごラーニングセンター」、08年にはサンデースクールも開設し、地域コミュニティのニーズに合った教育環境づくりに努めている。

マンハッタン校、ブルックリン校、ポートワシントン校、アフタースクールが2015年9月に西103丁目へ移転したのに伴い、同校内に全日制の「たんぼ幼稚園」が開園した。閑静な住宅地の中に5000スクエアフィートの敷地面積を誇り、広く落ち着いた教室や保育室を有している。公園にも近く、のびのびとした保育活動を実践している。2021年春より、日曜日に教科書準備の小学生オンライン国算教室が開校された。

ニューヨーク育英学園
8 West Bayview Ave., Englewood Cliffs, NJ 07632
www.JapaneseSchool.org
ニューヨーク育英学園全日制、育英サタデーN.J校、アフタースクール
育英サタデーN.J校 Tel: 201-947-4832
フレンズアカデミー Tel: 212-935-8535
育英サタデー・マンハッタン校 Tel: 201-947-4832
育英サタデー・ポートワシントン校
(月~金 Tel: 516-767-3139)
りんごラーニングセンター Tel: 201-947-4707